

風水害

特別警報、警報、注意報などの種類及び発表の基準

●特別警報

種類	発表の基準
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合

※過去の災害事例に照らして、指数（土壌雨量指数、表面雨量指数、流域雨量指数）、台風の中心気圧、最大風速などに関する客観的な指標を設け、これらの実況及び予想に基づいて発表が判断されます。

◎雨に関する敦賀市の50年に一度の値一覧

48時間降水量 (mm)	329
3時間降水量 (mm)	113
土壌雨量指数	207

◎敦賀市の記録的短時間大雨情報

1時間降水量 (mm)	80
-------------	----

●警報

種類	発表の基準		
大雨（浸水害）	表面雨量指数基準	14	
大雨（土砂災害）	土壌雨量指数基準	100	
洪水	流域雨量指数基準	井の口川流域	11.4
		木の芽川流域	11.6
		黒河川流域	13.7
	複合基準※	—	
	指定河川洪水予報による基準	笙の川水系笙の川 [呉竹]	
暴風	平均風速	陸上	20m/秒
		海上	25m/秒

※（表面雨量指数、流域雨量指数）の組み合わせによる基準値



出典：「特別警報の発表基準」「警報・注意報発表基準一覧表」（気象庁ホームページ）から抜粋

●注意報

種類	発表の基準		
大雨	表面雨量指数基準	8	
	土壌雨量指数基準	66	
洪水	流域雨量指数	井の口川流域	9.1
		木の芽川流域	9.2
		黒河川流域	10.9
	複合基準※	笙の川流域 (6、21.5)	
	指定河川洪水予報による基準	笙の川水系笙の川 [呉竹]	
強風	平均風速	陸上	12m/秒
		海上	15m/秒
雷	落雷等により被害が予想される場合		
濃霧	視程	陸上	100m
		海上	500m
乾燥	最小湿度 30%で、実効湿度 65%		
低温	① 7月～ 8月：日平均気温が平年より 3℃以上低い日が 3日以上継続		
	② 12月～ 3月：最低気温が平野部 - 5℃以下、山沿い - 10℃以下		

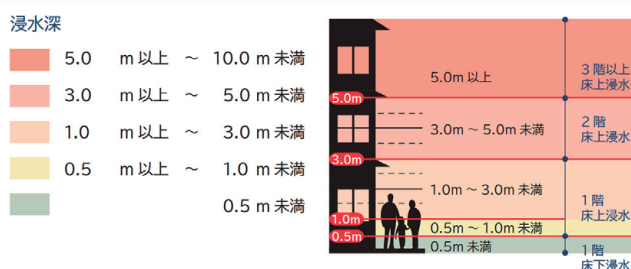
敦賀市洪水ハザードマップ

敦賀市では、福井県が公表した洪水浸水想定区域図及び水害リスク図に基づき、洪水ハザードマップを作成しました。

日頃から、このマップでご自宅や近隣の避難所などの水害リスクをご確認いただき、災害時の避難行動にお役立てください。

敦賀市 洪水ハザードマップ 検索

浸水深と建物被害



浸水深が 0.5mに達してから、0.5mを下回るまでの時間を浸水継続時間といいます。敦賀市では、浸水継続時間が最も長く続く場合で、1日程度と想定されています。

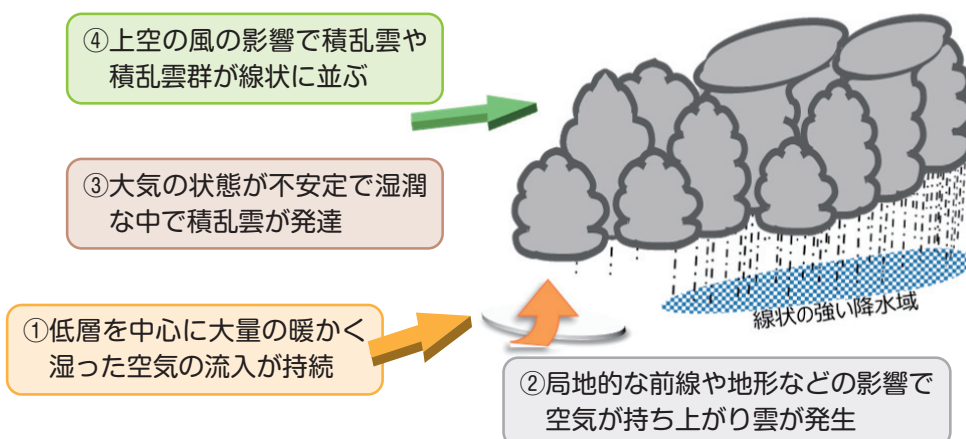
雨の強さと降り方

出典：雨の強さと降り方（気象庁ホームページ）から抜粋

1時間雨量 (mm)	雨の強さ (予報用語)	人の受けるイメージ・影響
10以上～20未満	やや強い雨	・ザーザーと降る 地面からの跳ね返りで足元がぬれる
20以上～30未満	強い雨	・どしゃ降り 傘をさしていてもぬれる
30以上～50未満	激しい雨	・バケツをひっくり返したように降る
50以上～80未満	非常に激しい雨	・滝のように降る (ゴーゴーと降り続く) 傘はまったく役に立たなくなる
80以上	猛烈な雨	・息苦しくなるような圧迫感がある ・恐怖を感じる

線状降水帯

線状降水帯の代表的な発生メカニズムの模式図



出典：気象庁ホームページから抜粋

台風の強さ

階級	最大風速
強い	33 m/秒以上～44 m/秒未満
非常に強い	44 m/秒以上～54 m/秒未満
猛烈な	54 m/秒以上

台風の大きさ

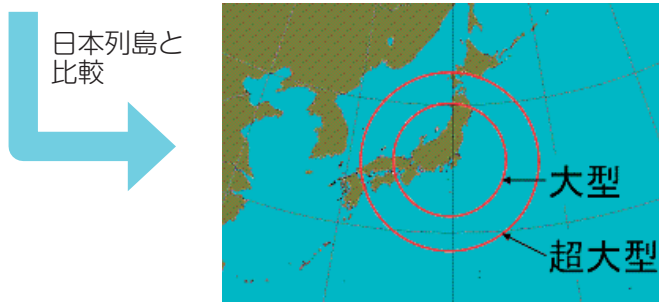
階級	風速 15 m/秒以上の半径
大型 (大きい)	500km 以上～800km 未満
超大型 (非常に大きい)	800km 以上

気象庁は台風のおおよその勢力を示す目安として、風速 (10 分間平均) をもとに台風の「大きさ」と「強さ」を表現します。

「大きさ」は強風域 (風速 15 m/秒以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲) の半径で、「強さ」は最大風速で区分しています。

さらに、風速 25 m/秒以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲を暴風域と呼びます。

日本列島と比較



出典：台風の強さと大きさ（気象庁ホームページ）から抜粋